

第2学年8組 国語科学習指導案

日 時 令和5年7月5日(水)第3校時

場 所 2年8組教室

生徒数 38名

授業者 関 みどり

1 単元名 事例の役割を考える～主張と例示との関係を捉える～『紙の建築』

2 研究主題との関わり

9年間を見通した安全教育の推進～自助・共助の力をはぐくむために～

3 単元について

本単元は、筆者が被災地などでのボランティア活動の中で試行錯誤を重ねた四つの事例をあげながら、建築物や建築家についての考え・思いを述べている。したがって、主張そのものだけでなく、事例の役割や効果に着目しながら事例と主張とを関連付けながら読み、筆者の考えを捉える必要があり、筆者の考えを踏まえつつ、自分の考えを形成していくことが望まれる。

4 生徒の実態

本学級の生徒は、積極的な発言や話し合いを活発に行うことができる。しかし、自分の考えを言語化することに苦手意識を持つ生徒も少なくない。定期テストや授業などを通して本文に沿った条件のある記述は答えられるようになってきたが、まだ自由記述については自信を持ってない生徒も多にいる。

これまで説明文の学習では、問いと答えを探したり、展開や構成を読み取ったりする活動は行ってきたが、筆者の主張をもとに自分の主張を展開したことはない。本単元を通して今まで学習した説明文の論の展開を参考にしながら自分の考えや主張を述べられるようにしていく。

5 単元の目標

意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。〔知識及び技能〕(2)ア文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア

言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

6 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------------------------------------|---|---|
| 意見と根拠、具体と抽象などの情報と情報との関係について理解している。 | ・文章全体と部分との関係に注意しながら、事例と主張を関連付け、筆者の行動と信念について捉えている。 | すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題に沿って説明しようとしている。 |

7 指導計画

| 時 | 学習活動・学習内容 | 評価 | | |
|---------|--|----|---|---|
| | | 知 | 思 | 態 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」を読んで説明的な文章における事例の意図を理解し、本文のあらましを捉える。 ・重要語句や分からない語句の意味調べをする。 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・本文のキーワードの抜き出しをして文章全体の構成を理解する。 | | ○ | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・本文における事例の役割や効果を確認しながら、事例と主張を関連付け、筆者の行動とそれを支える信念を捉える。 ・筆者の考えを踏まえながら災害時に自分のためにできること、他人のためにできることについて自分の考えをまとめる。 | | ○ | |
| ④ 本時 | <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを踏まえながら災害時に自分のためにできること、他人のためにできることについて自分の考えをまとめる。 ・考えを交流し、自助共助について話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。 | | ○ | |

8 本時の学習

(1)本時のねらい

① 互いの主張を読み合い、「自助・共助」に関する考えを深める。

(2)教具

PC プロジェクター ワークシート 生徒用 PC

(3)展開

| 前時の学習内容 | ○効果的な事例と主張の関連付け | |
|--|---|--|
| 学習活動 | ○学習内容 | 指導上の留意点(・) 評価規準(◇) |
| 1 前時の復習をする。 | ○学習内容 | ・作文の推敲の観点を意識させるためにも、前時までの学習内容を復習し、本時につなげられるようにする。 ・併せて前時までの作業内容の確認をする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①「自助・共助」について 防災 ②文章の構成(問い・具体例・体験・主張) (1)問い—答え—具体例—主張(「日本の花火の楽しみ」) (2)問い—具体例—主張(「水の山 富士山」) (3)主張—具体例—主張(「紙の建築」) ③自分の主張を書く上での見方・考え方 </div> | ○本時のねらい | |
| ① 互いの主張を読み合い、「自助・共助」に関する考えを深めよう。 | | |
| 3 班ごとの PowerPoint で文章の続きを書く。 TPC | ○文章の書き方 (構成、展開、具体例の使い方、物事の見方・考え方等) | ・机間指導をしながら条件に合った文章が書けているか確認をしていく。 ◇主張を支えるための文章の展開ができている。(PowerPoint)【思・判・表】 |
| 4 6人班で共有する。 ・PowerPoint でそれぞれの文章を読み合い、伝えたい内容・主張が「自助・共助」どちらについてなのかを読み取り、マ | ○主張の読み取り (伝えたいことが伝わっているか、具体例、体験と主張は関連付けられているか等) ○視点・観点の工夫 | ◇読み手に伝わるように主張が書けている。(PowerPoint)【思・判・表】 |

| | | |
|--|---|---|
| <p>ークをつけていく。TPC じしやく 防災</p> <p>・良い点をワークシートにメモしながら文章を読み合う。</p> <p>5 6人班で感想を伝え合いながら、全体で共有したい生徒の文章を一つ選ぶ。</p> <p>6 各班の良い文章を全体で読む。TPC じしやく</p> <p>・班員はどのようなところが良いと感じたか発表する。</p> <p>7 班・全体での共有を通しての感想をワークシートに記入する。</p> <p>8 本時のねらいに対する振り返り(「学びのあしあと」)を記入する。</p> <p>9 次時の予告を聞く。</p> | <p>○主張を伝えるための文章の展開</p> <p>○「自助・共助」に対する見方、考え方の深まりや広がり</p> <p>○学習の振り返りの視点</p> <p>○次時への見通し</p> | <p>・効果的な構成、展開かを意識しながら読み、主張を捉えられるよう指導していく。</p> <p>・感想を伝え合えるよう、メモを取りながら読むように指導する。</p> <p>・互いに付け合ったマークも参考にしながら文章を選ばせる。</p> <p>・主張だけではなく、視点の工夫がされているものなども含めて考えるように伝える。</p> <p>・文章構成だけではなく、「自助・共助」に関する考え方についても触れながら全体で共有していく。</p> <p>・他人の考えに触れて、自分の見方・考え方と異なった部分から何を感じたかを意識させる。</p> <p>・本時の目標に即して、学習の過程や自分の成果について振り返らせる。</p> <p>・本時の内容が別單元にもつながっていくことを意識させる。</p> |
| <p>次時の学習内容</p> | <p>○考えの理由付けを示して意見文を書く方法</p> | |

学習指導要領[思考力、判断力、表現力等]「読むこと」領域の第二学年の指導事項には、「文章全体と部分の関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること。」「思考・判断・表現C(1)ア」、「目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること。」「思考・判断・表現C(1)イ」とある。